

件名：	新滝ヶ洞溜池の水質異常に係る対策協議会 第7回 対策協議会
日時：	平成17年2月28日（月）14:00～16:40
場所：	可児市文化創造センター 1階 音楽口フト
出席者：	出席者32名 欠席1名（竹谷委員） 植下委員長、杉崎委員、堀内委員、大沼委員、今村委員、平山委員、 林委員、加藤（弘）委員、霞委員、丹羽委員、佐々（俊）委員、細田委員、田口委員、加藤（光） 委員、加藤（匡）委員、滝口委員、山口（綱）委員、足立委員、佐橋委員、田中委員、 加藤（攻）委員、奥村委員、山口（正）委員、水野委員、後藤委員、小木曾委員 事務局…福田、森田、中村、片桐、佐々木、三木
配布資料：	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第7回対策協議会議事次第 ・ 資料7-1 ・ 協議会への意見質問一覧 ・ 大萱水源水質分析結果（可児市追加資料） ・ 第6回対策協議会議事要旨（速報版） ・ 資料7-2 ・ 席次表及び協議会委員名簿 ・ 巻末資料7-1 ・ 巻末資料7-2
議事内容：	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>1) 観測データと覆土工の報告</p> <p>事務局：資料7-1「1. 観測データと覆土工の報告」に基づき説明。</p> <p>田口委員：前回の協議会のなかで、タンクモデルによる効果の予測を提示していただいたが、現時点での覆土の効果はどの程度となっているか。</p> <p>植下委員長：いままでのところ、覆土工の効果はよくでている。今回の観測結果からは、降水の100%近い地表面排水が確認されており、また、観測井戸の水位は降雨後においても変化が無いことが確認されている。</p> <p>田口委員：浸出水からの硫酸イオン濃度等のデータは、どのようにみるのか。</p> <p>事務局：覆土工による遮水効果はでている。水質は、豊水期のデータをみて検証していきたい。</p> <p>田口委員：今回の協議会資料には、コルゲート西、東以外の浸出水データが掲載されていないが、なぜか。</p> <p>事務局：データはあります。閲覧可能です。なお、測定値としてはコルゲート東西の値とあまり変わりません。</p> <p>田口委員：残土処理場末端部の浸出水については、まだ解明されていないことがある、データを提示してもらいたい。</p> <p>植下委員長：事務局はその話は伺うだけでよろしいですね。</p> <p>2) 水質基準値及び監視地点の検討・平成17年度4月以降の水質観測について</p> <p>事務局：資料7-1「2. 水質基準値及び監視地点の検討」、「3. 平成17年度4月以降の水質観測について」に基づき説明。</p> <p>滝口委員：遮水効果によりpHはもっと上昇すると思っていたが、あまり改善されていないのでは。</p> <p>事務局：昨年の湧水期のデータから、覆土をしてもすぐにpHが上昇するものではないと考えている。ただし、硫酸イオンの影響で酸性を示すと考えているため、硫酸イオン濃度で覆土工の効果を評価していきたいと考えております。</p> <p>杉崎委員：pHは対数表示の指標であるため、見た目変化がないようにみえるが、観測データを見るかぎり、pHは改善傾向にある。</p> <p>加藤（匡）委員：今回の結果は降水の少ない時期のものであり、雨期のデータをみなければ、覆土の効果が検証されたとはいえない。この時点で、観測地点や項目等の議論をかわすのは時期尚早である。</p> <p>植下委員長：黄鉄鉱の酸化と関係のない観測は外していく考えです。</p>

- 加藤(匡)委員：観測地点や項目の変更は、地元を含め、みんなの討議で決めるべきである。
- 植下委員長：この協議会の議論を踏まえて先に進めていく方針です。
- 滝口委員：前回のボーリング孔に不安定なデータがあった。ボーリング孔の水位のみを見ているのはどうか。
- 事務局：水質については浸出水のデータをみます。黄鉄鉱と水の反応については、ボーリング孔の水位の変動をみます。
- 大沼委員：滝口委員の発言の不安定なボーリング孔は、B10、B21のことと思われます。残土処理場内の流出メカニズムははっきりしていないので、ボーリング孔の水位だけでなく水質も確認する必要があります。また、有機汚濁の項目については、調整池の有機汚濁を事前に確認しておかなくてはならない。有機汚濁の項目を外すのは時期尚早である。
- 堀内委員：コルゲート東西のデータからすると有機汚濁は認められない。
- 事務局：調整池のデータはとっていません。調整池に流入する水質は、コルゲート排水で包括できると考えております。
- 堀内委員：残土処理場に対して面的な考え方をするのならば、調整池というか、東西コルゲートの結果からして、調整池の有機汚濁に関する調査は除外してもいいのではないか。
- 加藤(匡)委員：残土工事の影響でないかもしれないが、農業用水と密接に関係している溜池用水ですし、継続して観測していく必要はないでしょうか。
- 滝口委員：調整池のデータをとっていないのに、調整池を提案するのはなぜですか。
- 事務局：調整池のデータは、過去の結果と比べるものではなく、今後の基準値の検討のためのものです。
- 加藤(匡)委員：国土交通省は、今回の黄鉄鉱に起因しないCODやBOD等の項目については責任がなく、切り離して対応をするのですか。
- 植下委員長：今回の場合、黄鉄鉱に起因しない項目は、地域の環境行政の問題に該当するものと考えられます。
- 後藤委員：CODやBOD等の有機汚濁は、残土処理場とは別の水系である滝ヶ洞溜池等で高くでている。残土処理場からの排水は、許容される範囲内に収まっている。国土交通省としては残土処理場に起因した問題に対して解決いたしますが、それ以外の点については、環境行政による対応によるものとなるのでは。
- 大沼委員：これからの観測地点にするということを含めて、調整池で水質の観測をしていけばよろしいのではないのでしょうか。
- 細田委員：可児市で調整池の水質分析を実施していると聞いているが。
- 事務局(可児市)：昨年4月以降、調整池の水質調査を行っている。公表可能です。
- 小木曾委員：調整池の水は、残土処理場からの水を入らないようにしているため、溜まり水化している。分析結果の値には疑問がある。今後、プラントの停止や運転を行い、水質を確認していく必要がある。
- 加藤(匡)委員：この協議会では、可児市全体の環境問題を検討していくのか、それとも、残土処理場に起因したものしか検討しないのか。
- 植下委員長：環境問題はずっと続く問題ですが、この協議会では、残土処理場に関する問題を協議しないといいけません。

3) 可児市水道水源の安全性について

- 事務局(可児市)：資料7-2「可児市水道水源の安全性について」に基づき説明。
- 加藤(匡)委員：可児市からの議案に関しては、大萱自治会の協議の結果、本協議会の議事内容としてはふさわしくないと判断しました。可児市水道課または土木課のかたと個別に協議をさせて頂きたい。
- 事務局(可児市)：本協議会で水道水源の安全性が確認させて頂いたという形として確認できれば、個別に地元と協議を進めていきたい。

4) 各議事に対する質疑・応答

- 田口委員：「調整池放流」の調査地点は堰堤下のようだが、調整池本体は調べないのか。
- 事務局：今の調整池の状態では意味がないと考えています。
- 田口委員：可児市では調整池の観測は継続していくのですか。
- 事務局(可児市)：調整池の水が停滞しているなかで、今後、観測地点として適しているか専門家と打ち合わせて決めたい。
- 田口委員：調整池の汲み上げ量のデータはありますか。
- 事務局：プラント処理量としては記録をとっている。汲み上げ量は確認をとってみます。
- 細田委員：のり面等の対策はどうなりましたか。
- 小木曾委員：覆土工事に先立ち、水溜まりが出来ないようにしました。排水勾配は満足しています。法面については可児市と植栽関係の仕事での対応を調整中です。
- 大沼委員：ボーリング孔の水質の確認を行ったらどうか。各孔の状況の報告がほしい。
- 事務局：ボーリング孔の水は真っ赤に汚れており、水質調査に適さないと考えているので前回協議会で提案しませんでした。
- 大沼委員：今回報告いただいている残りのボーリング孔についても、採点表みたいなものを提出していただけたら。
- 事務局：何らかの形で出していきたいと思います。
- 大沼委員：水生生物に関する水質基準が抜けている。環境基準として亜鉛が0.03mg/Lという基準が決まった。
- 小木曾委員：魚類の調査も行っていますが、各々の基準値を参考に検討していきます。
- 大沼委員：協議会の議論の材料として揃えておくべきである。
- 小木曾委員：入れておきます。
- 加藤(光)委員：観測地点の変更は、3~5ヶ月様子を見た上で進められないか。17年4月以降について、観測期間を具体的に示していただきたい。
- 事務局：観測の終了時期については、協議会に諮ります。また、下流域の2地点(小淵、大萱黄瀬戸橋)については水質的に異常がないため観測を終了したい。
- 加藤(光)委員：下流域の2地点の継続観測を行ってほしい。
- 植下委員長：専門的な見地から、上流が問題なければ下流も問題ないと考えられます。
- 足立委員：梅雨が明けるまでは継続してもらえないか。
- 事務局：引き続きプラントは稼働していくので、下流域への影響はないと考えます。
- 山口(綱)委員：滝ヶ洞溜池の水質が悪いのであれば、可児市の環境行政で対応するのか。
- 滝口委員：農業を再開できる責任は誰が持つのかはっきりさせてほしい。
- 事務局(可児市)：農業用水に関しましては、その時の水質から判断して中止させました。滝ヶ洞溜池の水質に関しましては、別途相談させてほしい。
- 霞委員：前回の協議会で基準の素案を示すということだったが。
- 事務局：基準値の設定については次回以降に検討したいと思います。硫酸イオン濃度の400mg/Lは、覆土工の効果の目安としています。
- 大沼委員：地元要望は、プラントに頼らなくても良い状態にするということ。最終的に調整池でモニタリングする提案を受けたが、EC、pHについては、通信機能を持たせた無人の観測機器等が有効である。
- 加藤(匡)委員：国交省のモニタリング結果を提供していただけないか。
- 事務局：定点の調査結果はインターネットで掲示しています。
- 滝口委員：遮水により、降雨の排水量が増加すると思われるが、どの程度の水が出るのか。
- 小木曾委員：今の段階ではそこまでデータを持っておりません。今後検討してお答えできるようにしたい。
- 植下委員長：調整池が洪水調整の役をすると、さらに安全になりますね。
- 田口委員：10月21日に調整池の水がオーバーフローしておりました。
- 植下委員長：そのような意見があったことを伺っておきます。

3. 閉会

以上

